

院内がん登録全国集計を用いた 2019～2022年集計

院内がん登録を利用した新型コロナウイルス感染のがん診療への影響について

栃木県がん診療連携協議会がん登録部会

目的

- 新型コロナウイルス感染（以下COVID19）拡大前（2019年）と感染拡大後（2020～2022年）のがん診療の影響を観察する

方法

- 院内がん登録全国集計に当該診断年すべてにデータ提出した、栃木県がん診療連携協議会の14医療機関のデータを、診断年別に集計した。
- 院内がん登録 全国集計 結果閲覧システム（0年集計） 施設別 部位別登録数検索を使用
- 観察項目は下記の通り
部位別、性別、年齢階級別、診断時住所（県内・県外）
発見経緯別、来院経路別
- https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/frametype_select.aspx?UnitType=1

院内がん登録全国集計参加施設 (2019~2022年診断症例：14施設)

自治医科大学附属病院

上都賀総合病院

足利赤十字病院

栃木県済生会宇都宮病院

栃木県立がんセンター

那須赤十字病院

芳賀赤十字病院

獨協医科大学病院

とちぎメディカルセンターしもつが

国際医療福祉大学病院

国立病院機構宇都宮病院

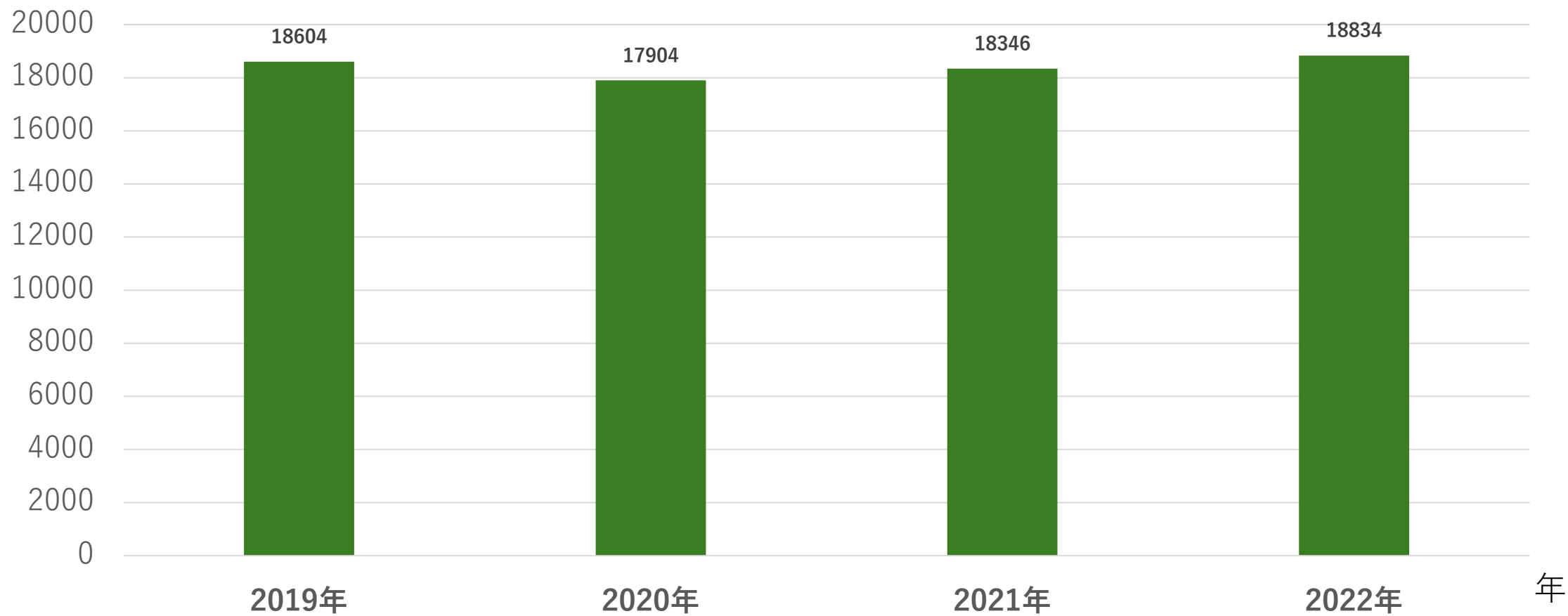
佐野厚生総合病院

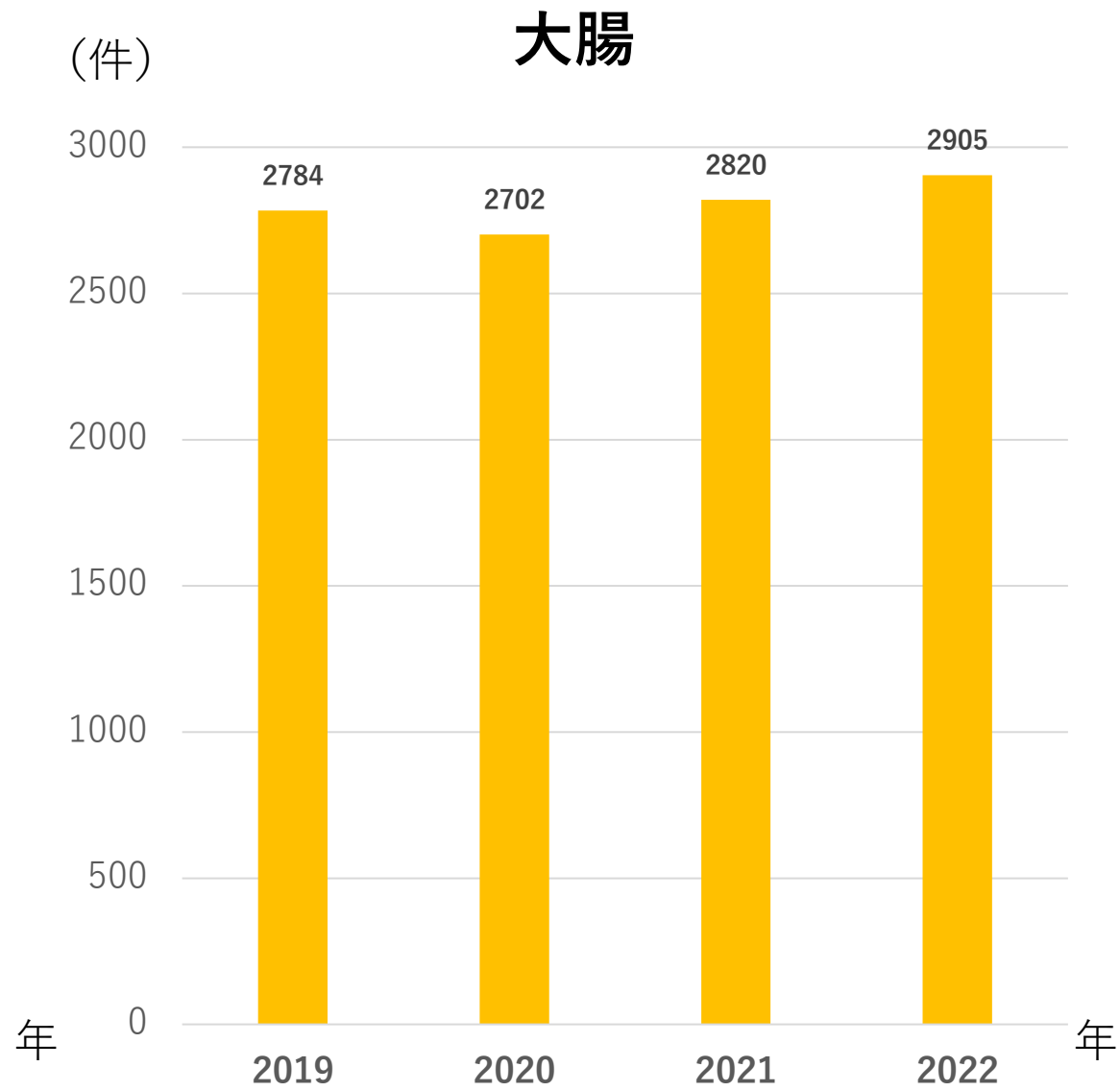
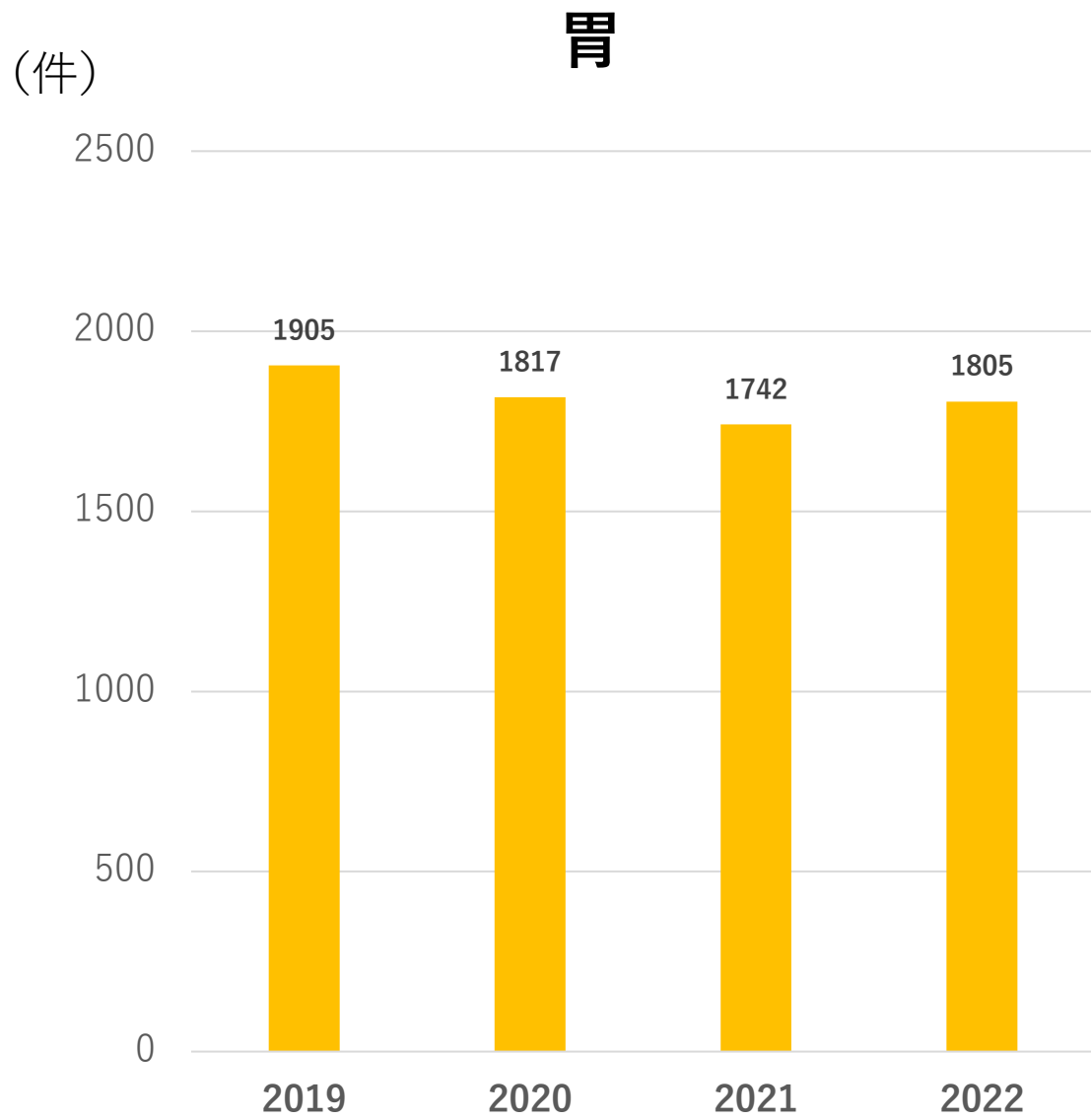
新小山市民病院

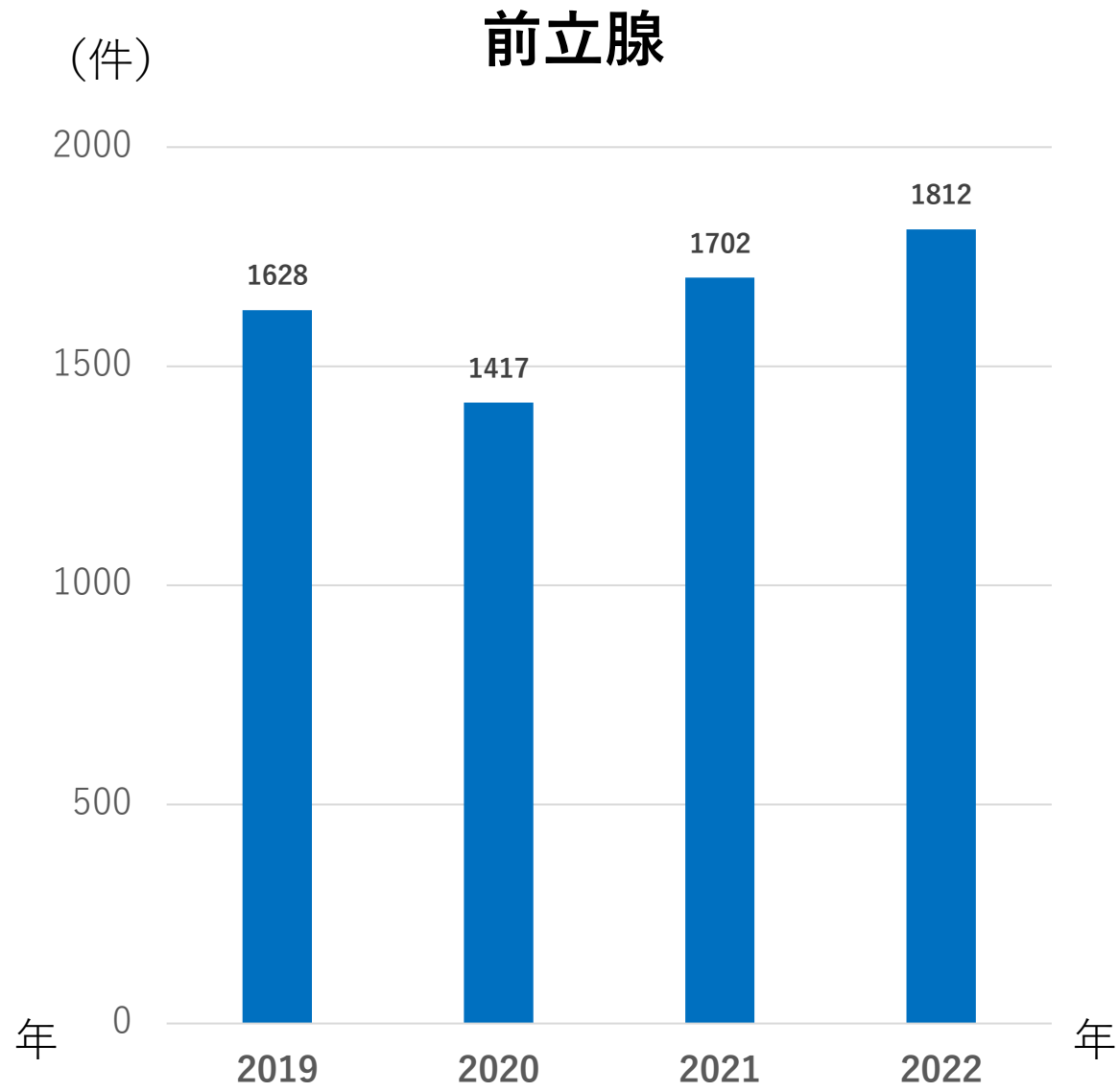
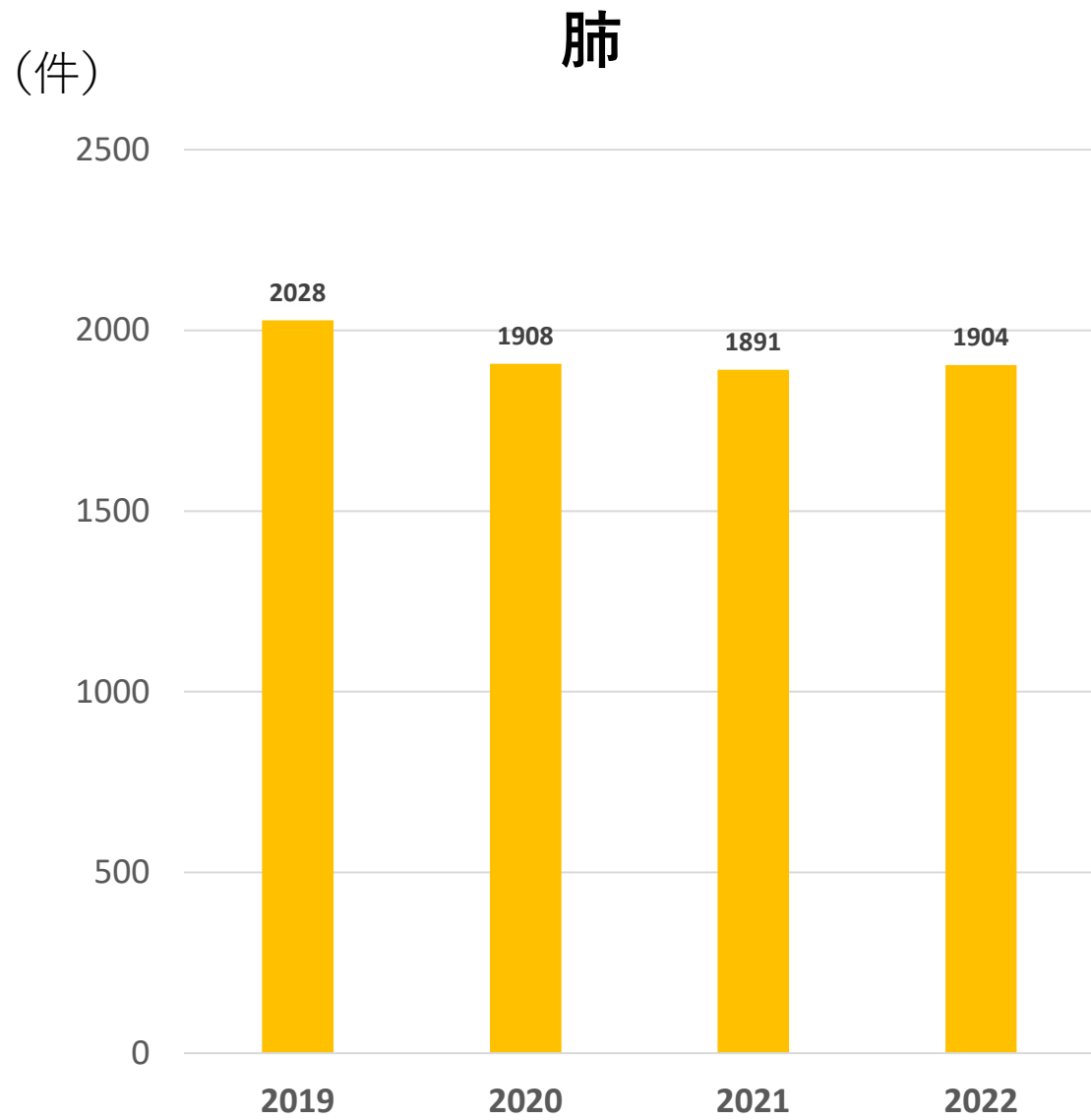
栃木医療センター

全部位

(件)

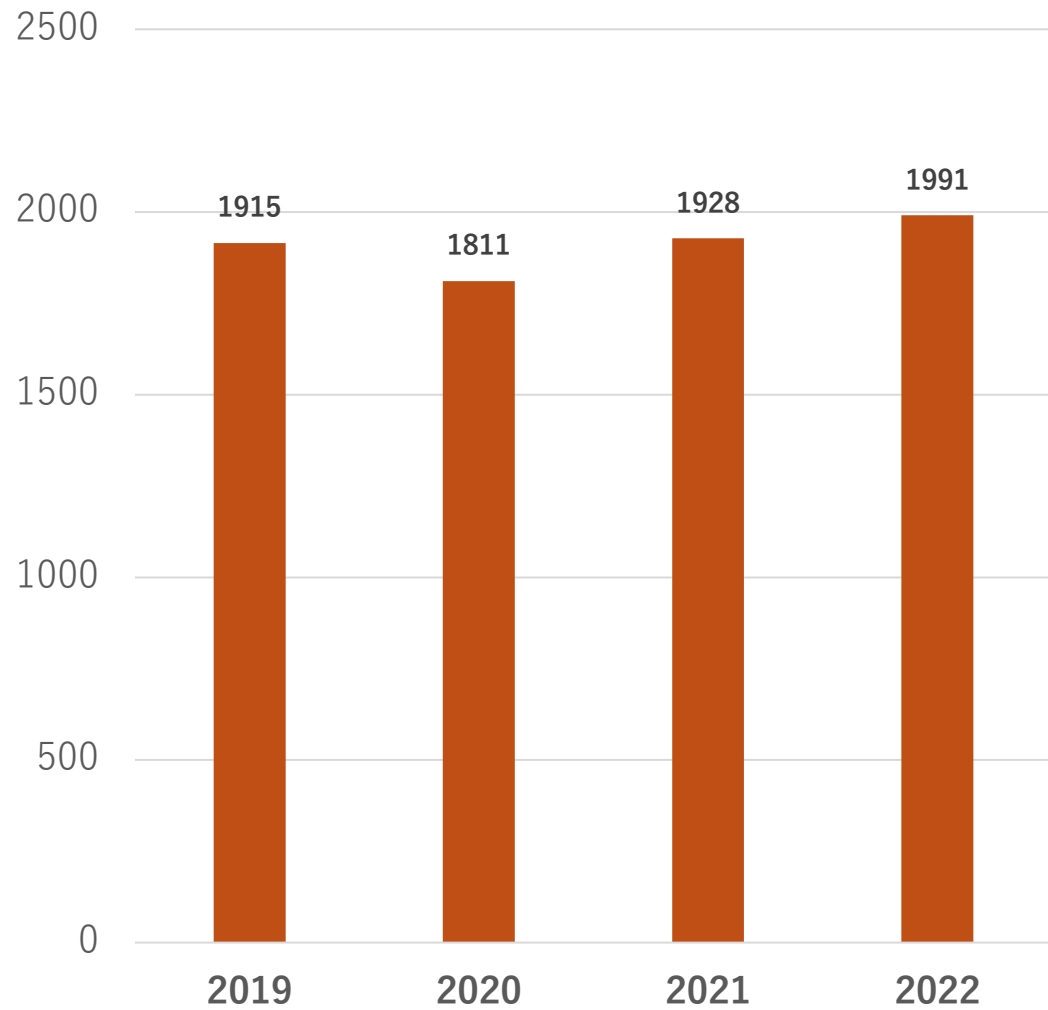






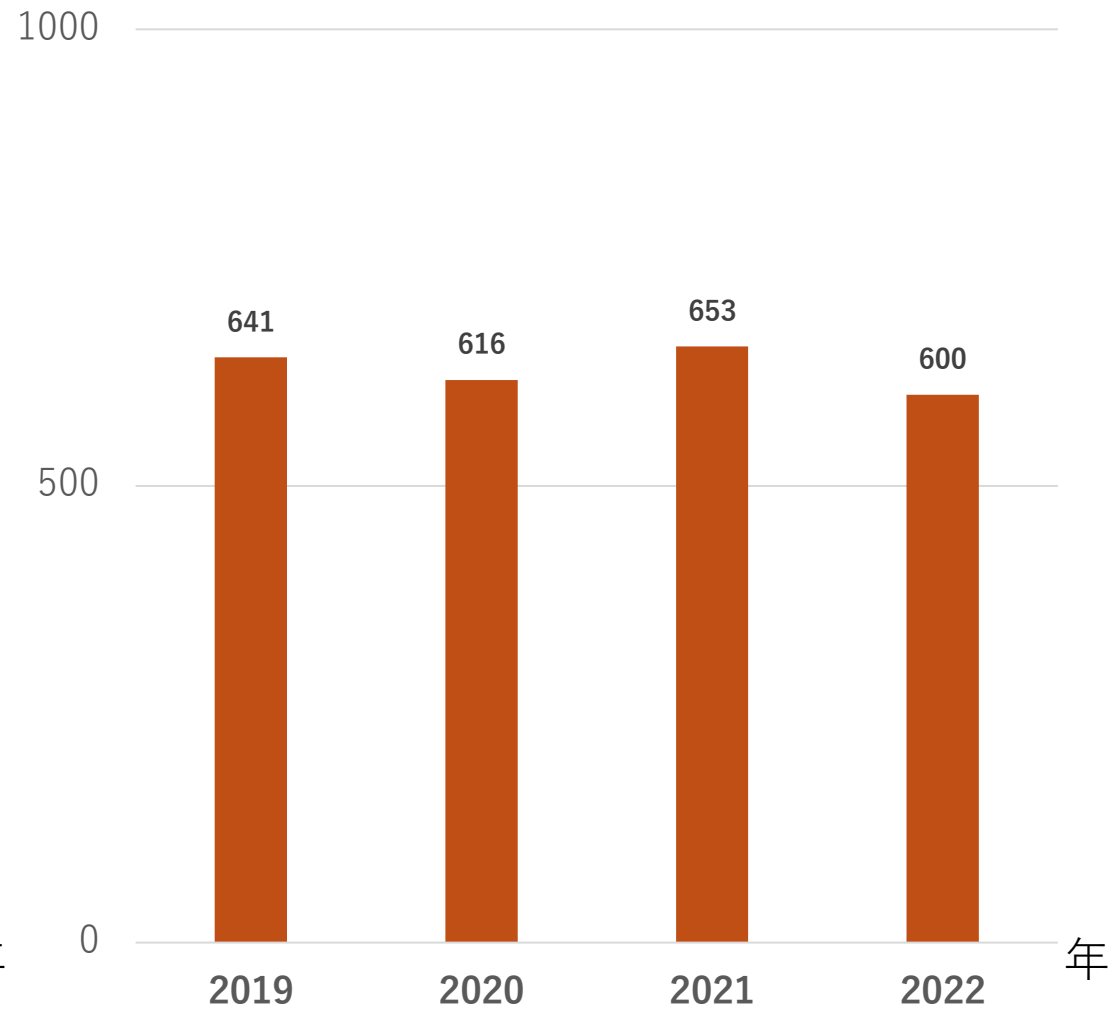
乳房

(件)



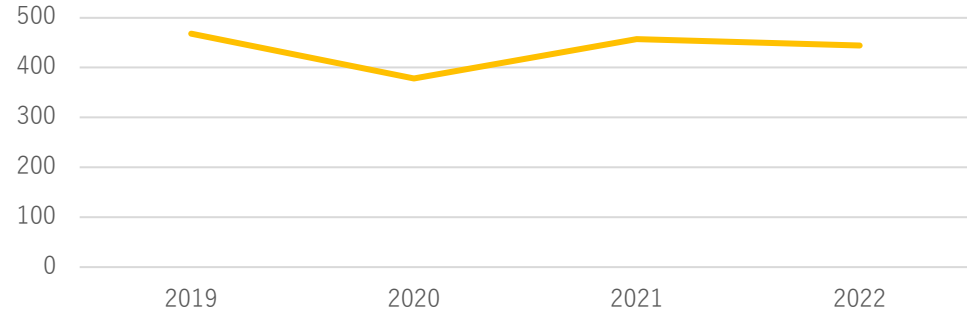
子宮頸部

(件)

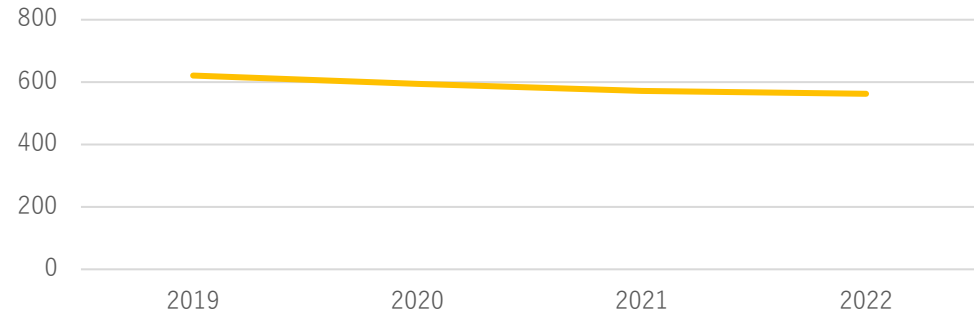


【参考】

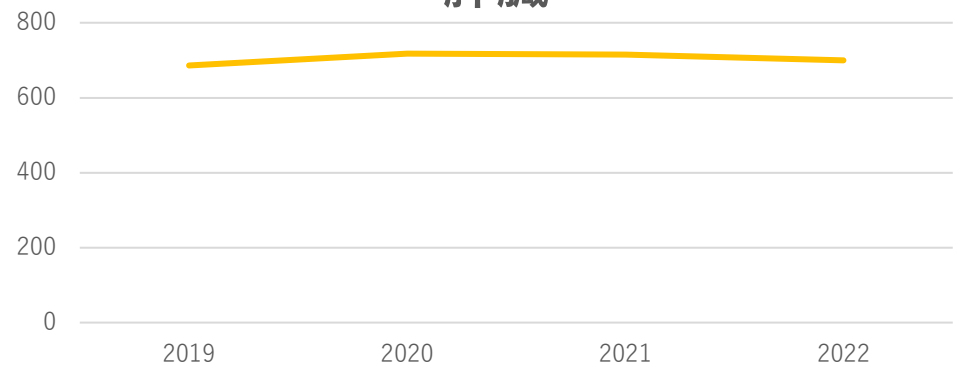
食道



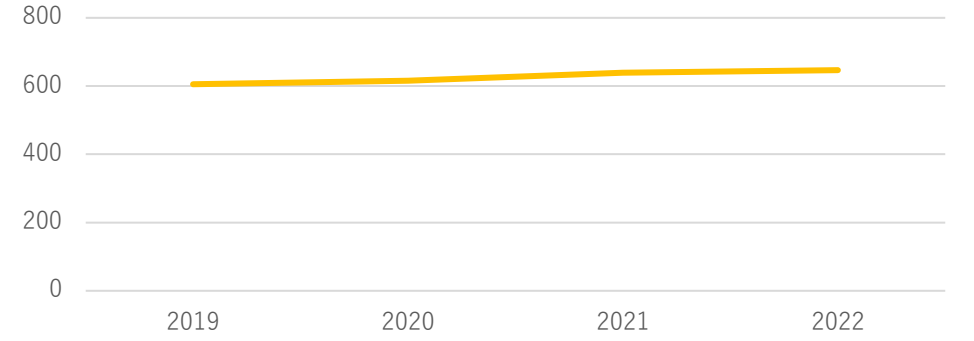
肝臓



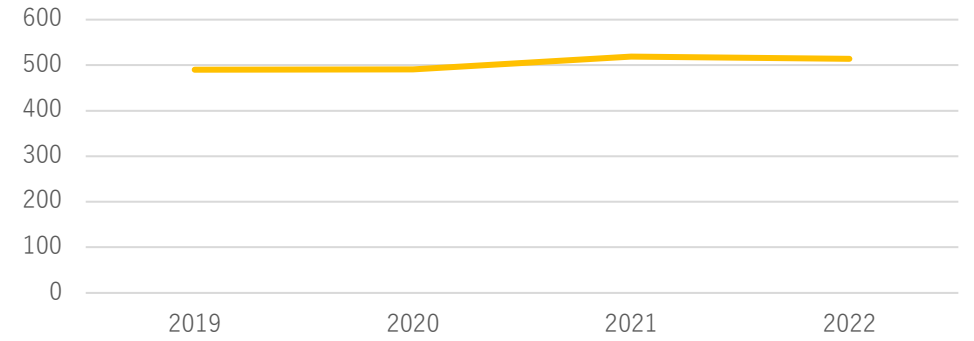
膵臓



膀胱

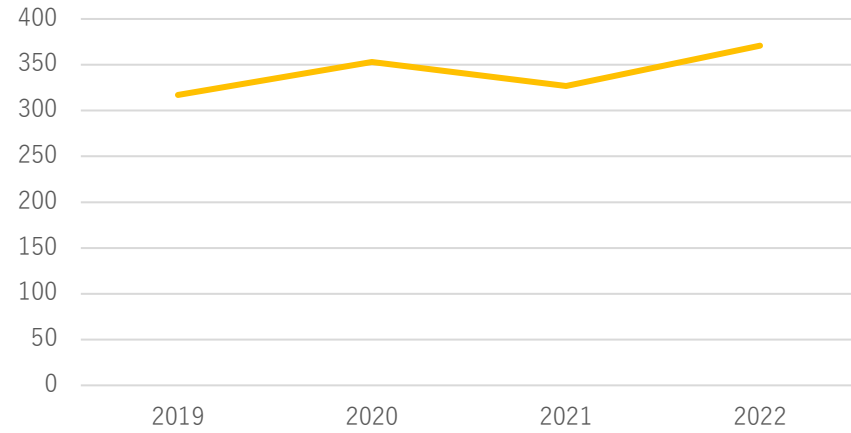


腎・尿路

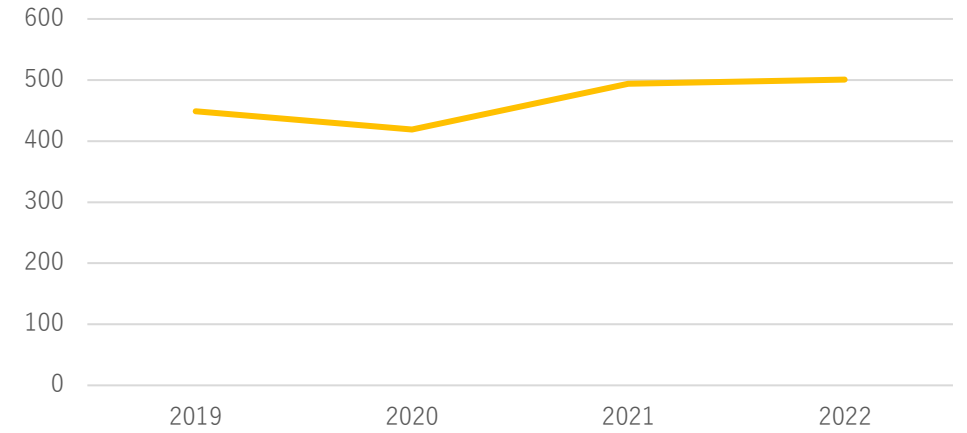


【参考】

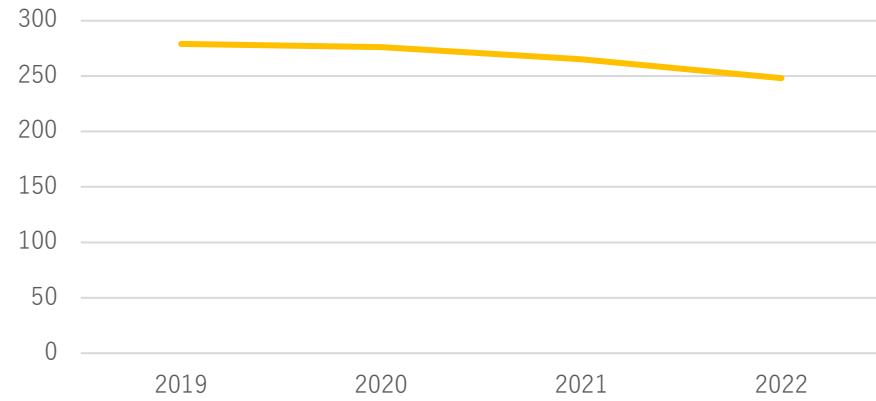
子宮体部



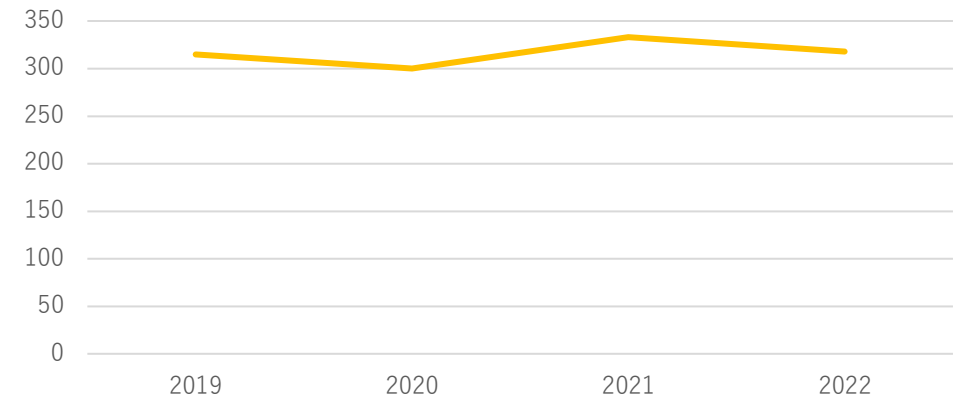
脳神経



卵巢

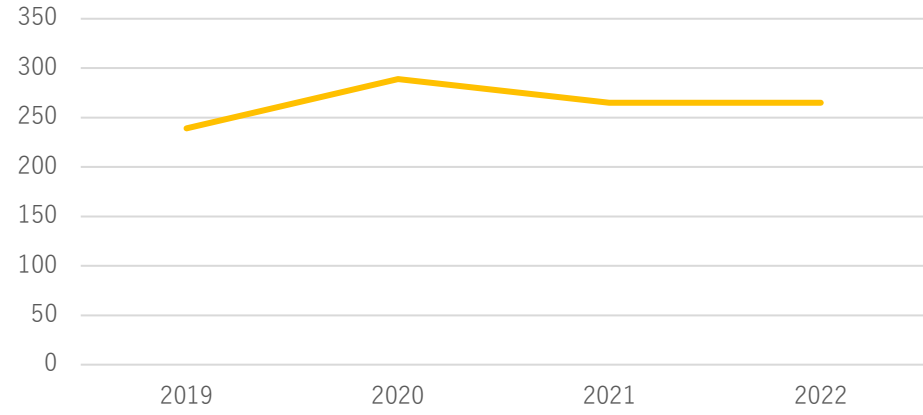


甲状腺

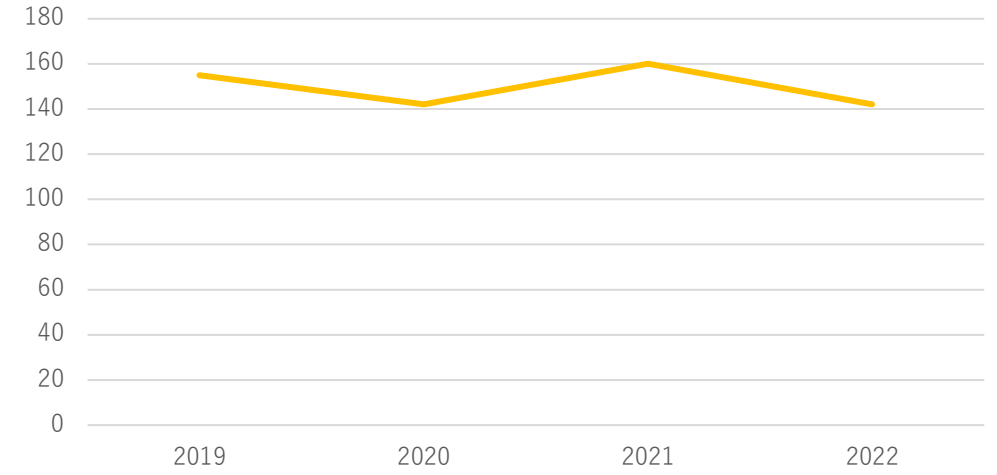


【参考】

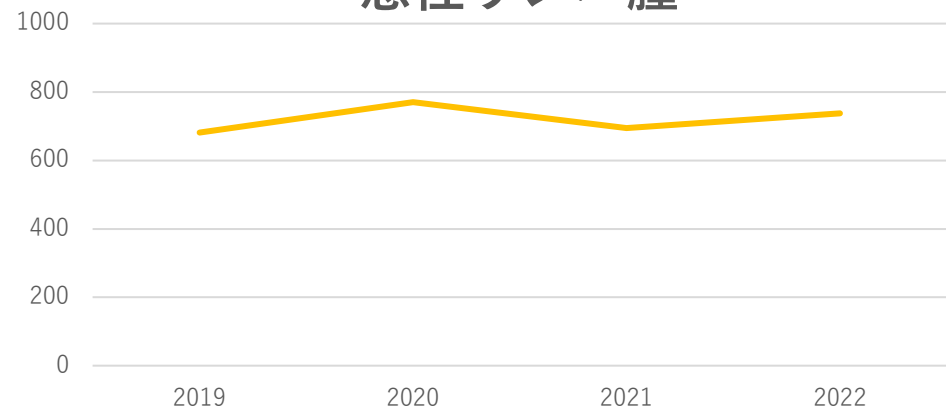
白血病



多発性骨髄腫

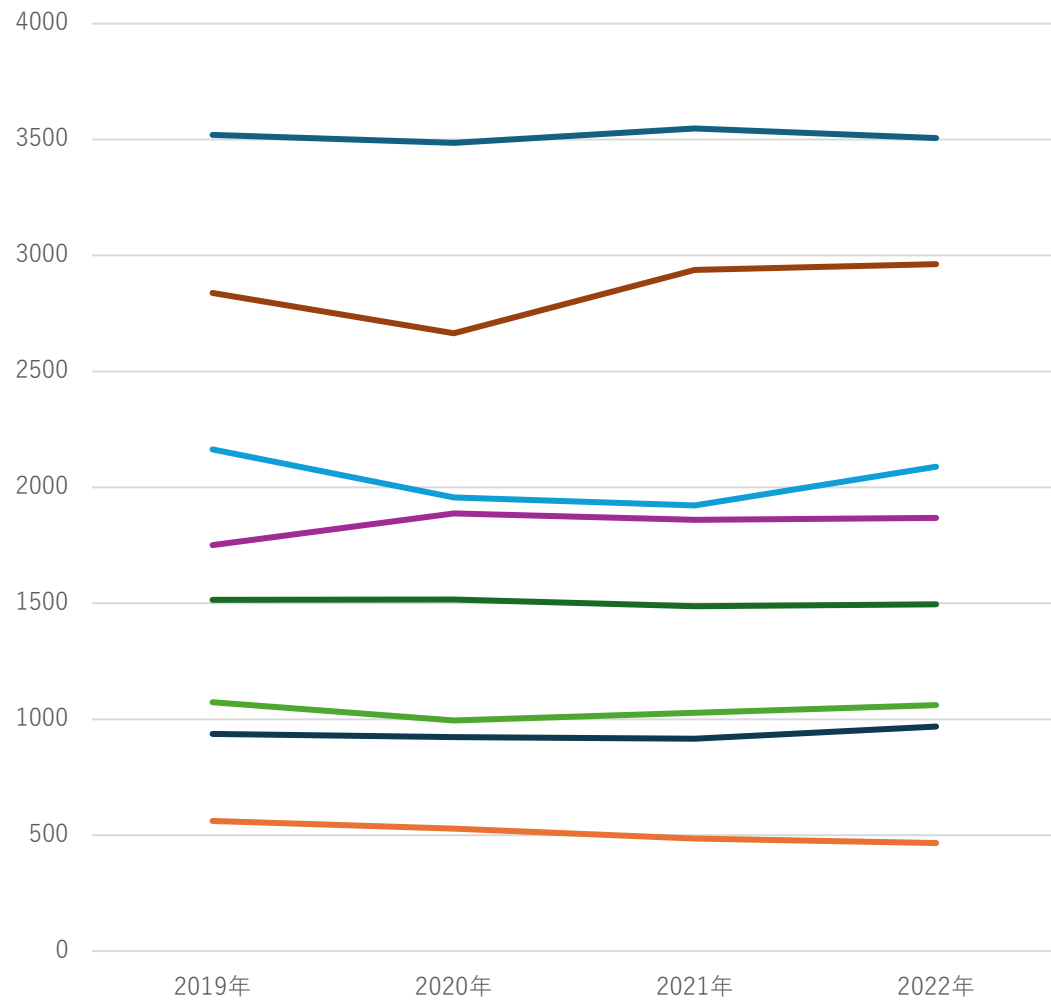


悪性リンパ腫



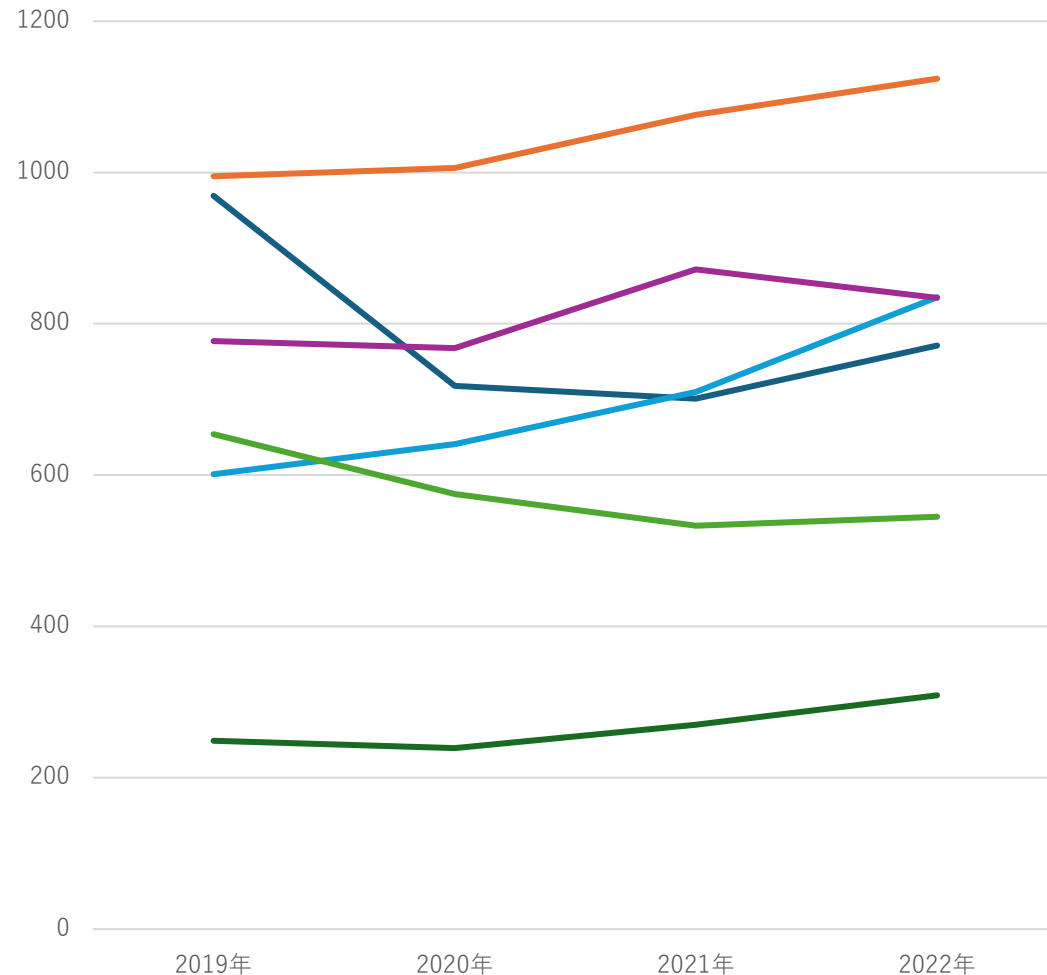
【参考】

拠点病院全部位



- 自治医科大学附属病院
- 足利赤十字病院
- 栃木県立がんセンター
- 芳賀赤十字病院
- 上都賀総合病院
- 栃木県済生会宇都宮病院
- 那須赤十字病院
- 獨協医科大学病院

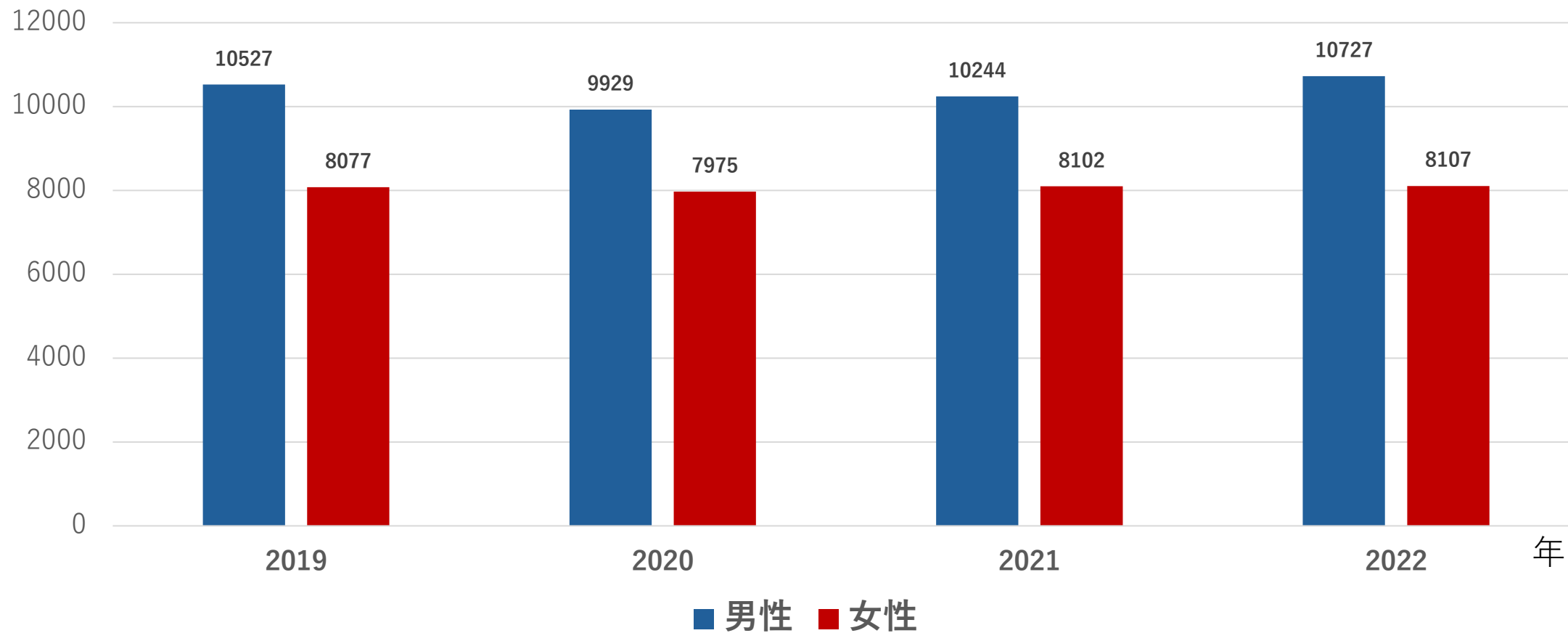
拠点外病院全部位



- とちぎメディカルセンターしもつが
- 国際医療福祉大学病院
- 国立病院機構宇都宮病院
- 佐野厚生総合病院
- 新小山市民病院
- 栃木医療センター

性別

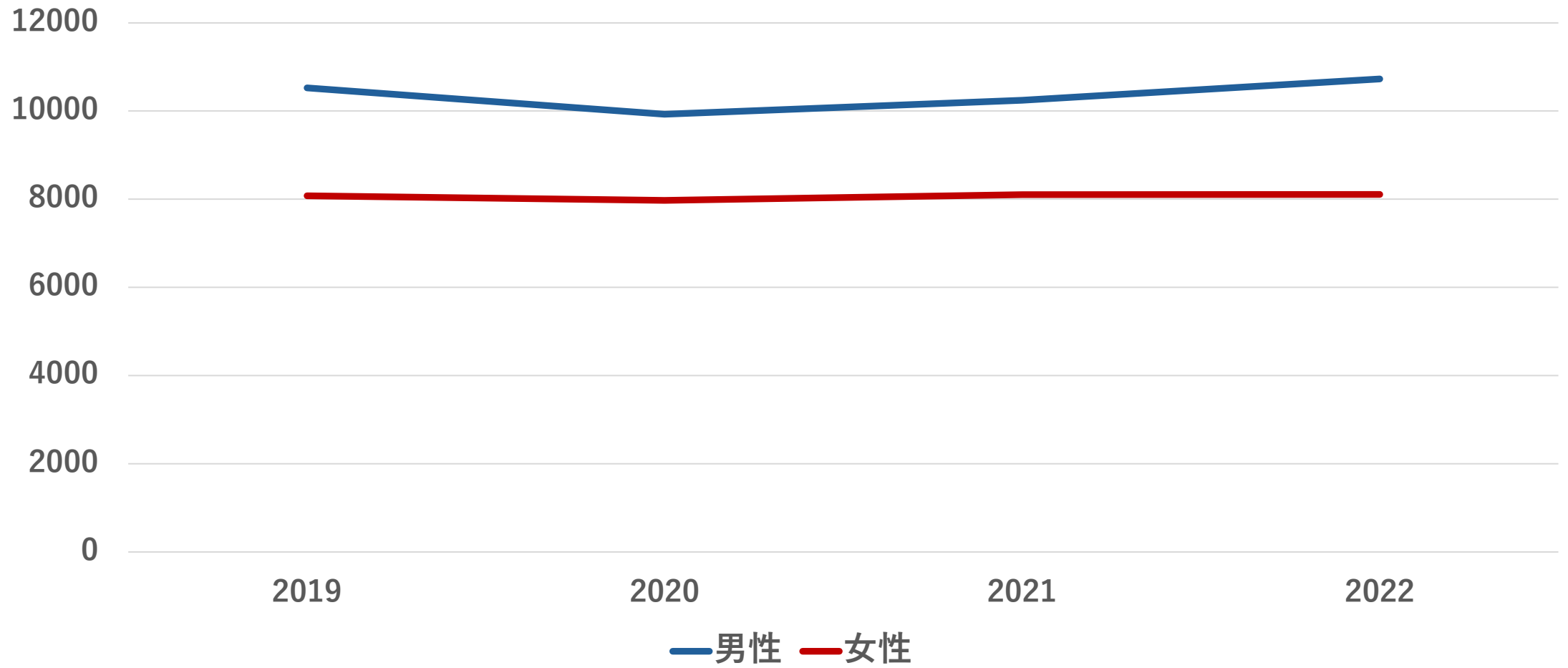
(件)



【参考】

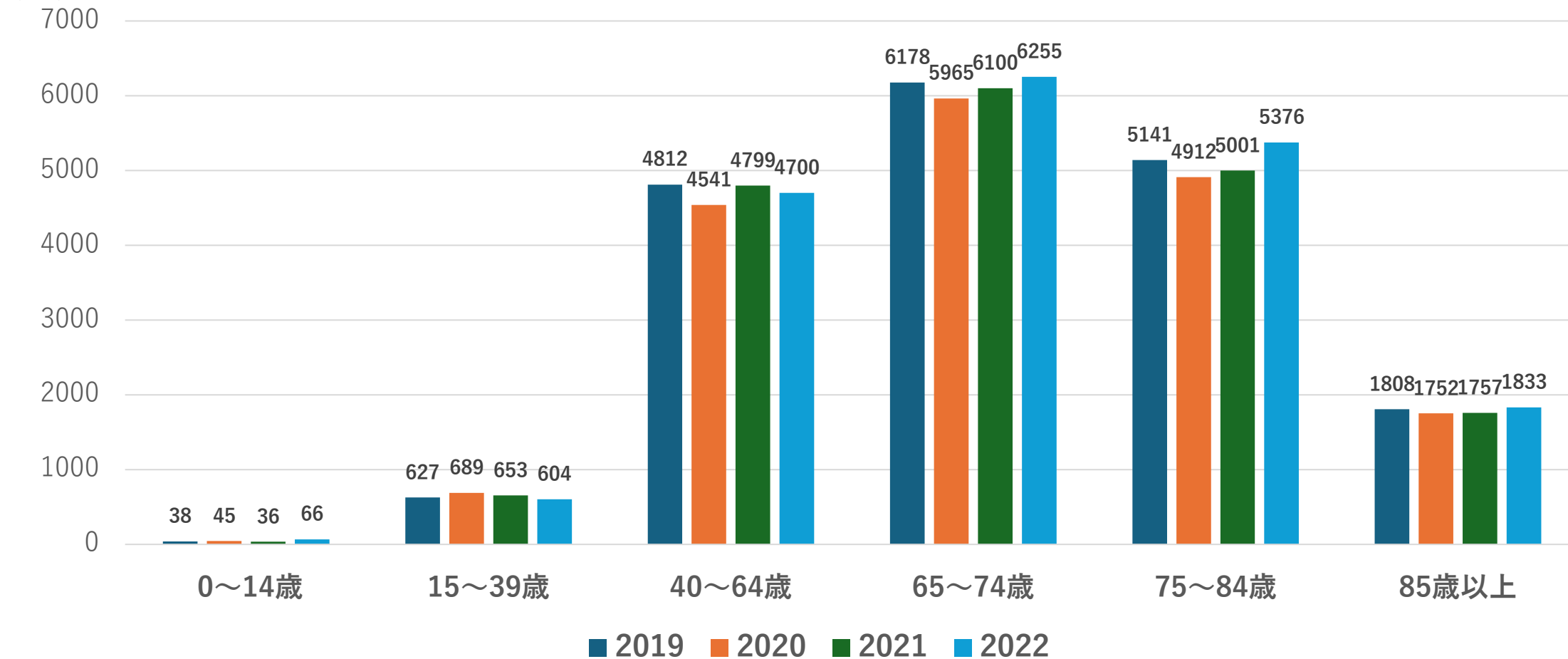
性別 (2)

性別件数の推移

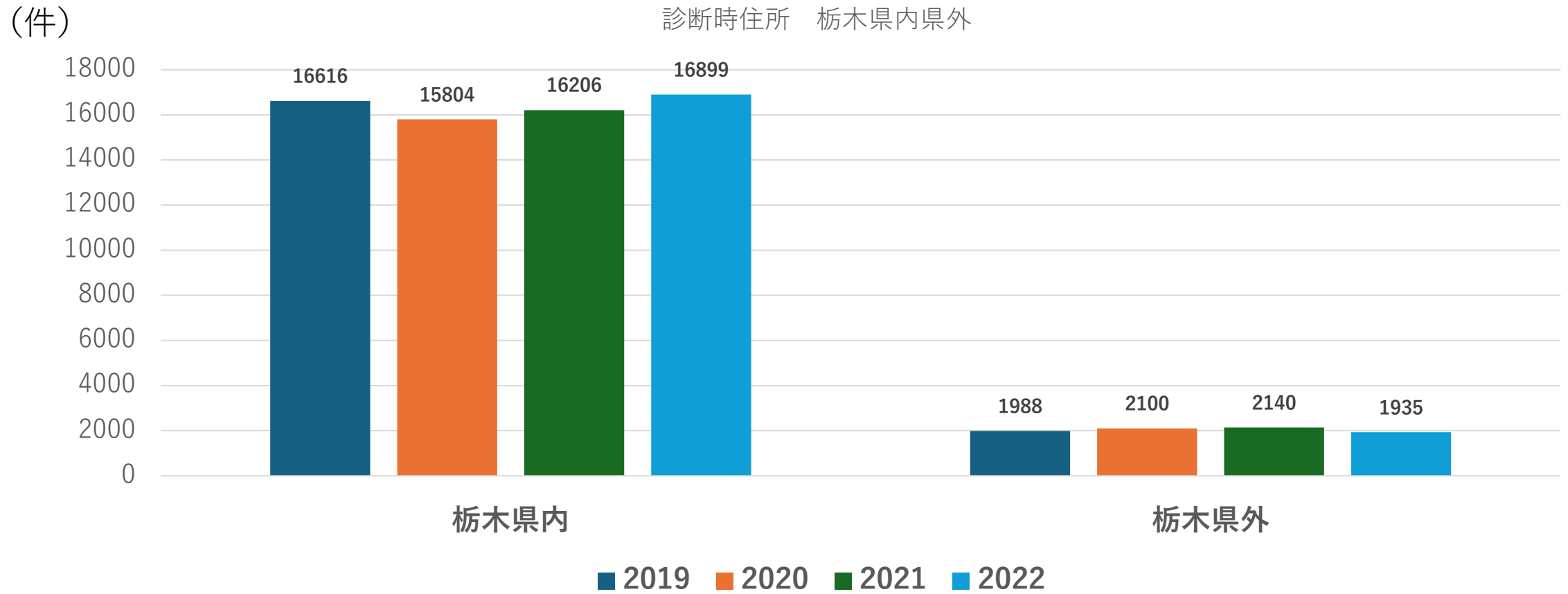


年齡階級別

(件)

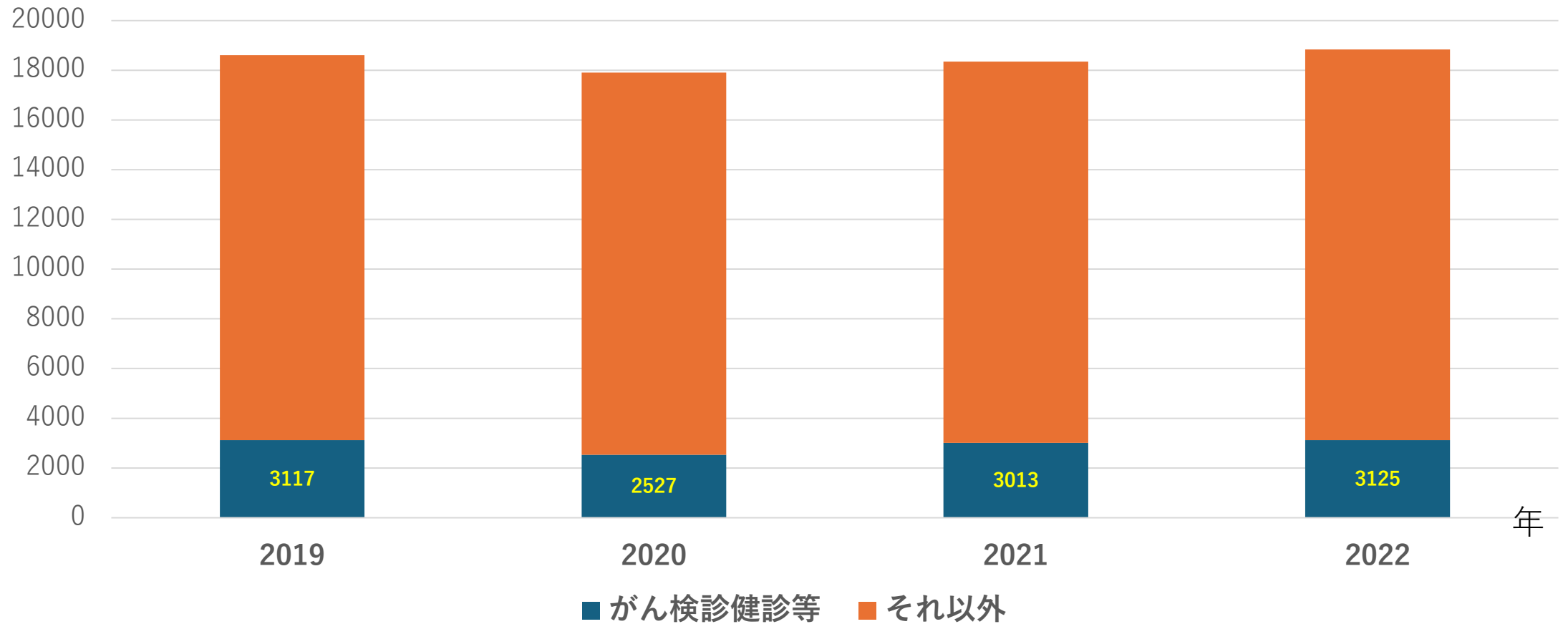


診断時住所（栃木県内・県外）



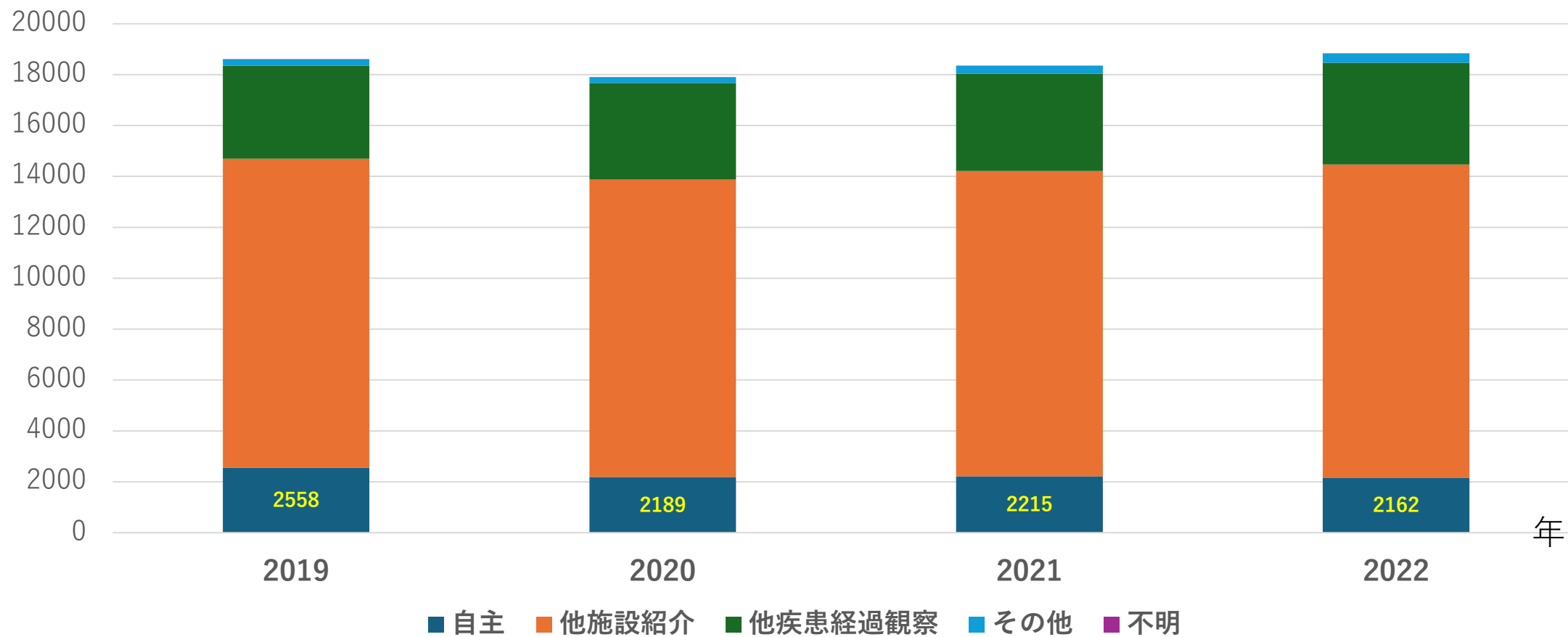
発見経緯別（検診）

(件)



来院経路別

(件)



まとめ

- 2019～2022の4年間、院内がん登録全国集計に提出した栃木県がん診療連携協議会がん登録部会の14施設について経年変化を観察した。
- 2019年(18,604件)、2020年(17,904件)、2021年(18,346件)、2022年(18,834件)と、COVID19感染拡大が始まった2020年が最も少なかった。2021年は2020年より増加したものの、2019年より少なく、2022年はもっとも多い登録数であった。
- 2019年を基準とすると、2020年は3.8%減、2021年は1.4%減、2022年は1.2%増となった。

- 部位によって傾向が異なった。
- 男性の方が全体と同じ傾向が見られた。
- 年齢階級では65～84歳で全体と同じ傾向が見られた。
- 診断時住所が県外では全体と同じ傾向は見られなかった。
- 検診発見で全体と同じ傾向が見られた。